

## 平成 28 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

- 下水圧送管路における硫化水素腐食箇所の効率的な調査・診断技術に関する研究（楸クボタ）

硫化水素腐食が起りうる箇所を適切に絞り込む手法および、空気弁からのカメラの挿入により圧送管内の腐食状況を診断する技術により、複数の実施設で検証データが取得出来ており、一定の成果が得られている。

予備調査で採択されたものがあるが、技術の妥当性および導入可能性は、当該データで十分評価が可能と判断されることから、ガイドラインを作成することが望ましい。